

公益社団法人関西経済連合会
一般社団法人関西経済同友会

「関西財界セミナー賞 2026」の公募について

関西経済連合会と関西経済同友会は、「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」を表彰する「関西財界セミナー賞 2026」の公募を本日から開始いたします。

本賞は 2005 年に創設され、今回で 22 回目となります※。9 月 26 日の公募期間終了後、選考を行い、2026 年 2 月に開催予定の第 64 回関西財界セミナーの中で受賞者の発表と表彰を行う予定です。

※ 輝く女性賞は 2009 年の創設、今回で 18 回目の表彰

< 関西財界セミナー賞 2026 公募概要 >

1. 表彰対象と要件

(1) 表彰対象

- ・ 関西 2 府 8 県※で事業活動を行う企業・団体・個人等。
※ 福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島
- ・ 本社の所在地、企業・団体規模の大小、自薦・他薦 は問いません。

(2) 表彰要件

- ① 独自の経営や技術、ビジネスモデルなどによって業績をあげていること。
※直近 3 年の業績(経常利益)も参考にする。
- ② 新規事業等により関西経済の発展、関西のイメージアップに貢献していること。
または、社会的活動を通じ、地域社会に貢献していることなど。

2. 表彰内容

- ・ 大 賞 表彰要件①に該当する、最も優れた企業、1 件
- ・ 特別賞 表彰要件①または②に該当する優れた企業・団体・個人、2 件以内
- ・ 輝く女性賞 . . 表彰要件①または②に該当する活躍が著しい女性、または、
女性の活躍を支援する企業・団体・個人、3 件以内

3. 応募方法

別紙の推薦用紙に必要事項をご記入のうえ、9 月 26 日(金)までに、
下記宛先までメールにてご応募ください。

※推薦用紙は、以下のホームページからダウンロードできます。
(<http://www.kankeiren.or.jp/project/cat62/>)

○応募先 メール : zaisemishou2026@kankeiren.or.jp

以 上

【添付資料】①「関西財界セミナー賞 2026」募集のご案内 ②推薦用紙
③ 参考：第 63 回関西財界セミナー報告書(抄)

関西財界セミナー賞2026 募集のご案内

※関西財界セミナー賞2025 贈呈式より



大賞 贈呈の様子



特別賞 贈呈の様子



輝く女性賞 贈呈の様子

関西財界セミナー賞は、関西全体の競争力強化や地域の活性化に寄与することを目的として2005年に創設され、今回で22回目となります※。

同賞は、「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」を公募し、選考のうえ、2026年2月に開催予定の第64回関西財界セミナーの中で受賞者を発表、表彰するものです。国内外の政治・経済情勢が先行き不透明な中、関西経済の発展や地域社会に貢献されている皆様の活動に光を当て、関西に元気と勇気を届けることができれば幸いです。自薦、他薦は問いません。多くの皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。※輝く女性賞は2009年の創設、今回で18回目の表彰

前回の受賞者

＜大賞＞ グラングリーン大阪開発事業者

＜特別賞＞ (一社)COMING KOBE実行委員会
京都学生祭典実行委員会
(株)ホテルニューアワジ

＜輝く女性賞＞ (株)ビジョンケア 代表取締役社長 高橋 政代 氏
フジモトゆめグループ
社会福祉法人隆生福祉会 理事長 藤本 加代子 氏
(株)ソーイング竹内
(株)ママクリエイターラボ

＜関西財界セミナーとは＞

1963年以来、毎年2月に関西の企業経営者が一堂に会し、国、地域、企業経営のあり方を議論するセミナー。企業経営者のみならず、外資系企業、在日公館、大学、自治体など幅広い分野の方々約500名が参加している。

— 募集要項 —

1. 表彰対象と要件

(1) 表彰対象

- ・ 関西 2 府 8 県（※）で事業活動を行う企業・団体・個人等。
※福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島 各県
- ・ 本社の所在地、企業・団体規模の大小、自薦・他薦 は問いません。

(2) 表彰要件

- ① 独自の経営や技術、ビジネスモデルなどによって業績をあげていること。
※直近 3 年の業績（経常利益）も参考にします。
- ② 新規事業などにより関西経済の発展、関西のイメージアップに貢献していること。
または社会的活動を通じ、地域社会に貢献していることなど。

2. 表彰内容

- ・ 大 賞・・・表彰要件①に該当する、最も優れた企業、1 件
- ・ 特別賞・・・表彰要件①または②に該当する優れた企業・団体・個人、2 件以内
- ・ 輝く女性賞・・・表彰要件①または②に該当する活躍が著しい女性、または、女性の活躍を支援する企業・団体・個人、3 件以内

3. 募集期間

2025 年 8 月 19 日（火）～ 9 月 26 日（金）

4. 応募方法

別紙の推薦用紙に必要事項をご記入のうえ、9 月 26 日（金）までに、
下記宛先までメールにてご応募ください。

※推薦用紙は、以下のホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kankeiren.or.jp/project/cat62/>)

【応募先】 メール：zaisemishou2026@kankeiren.or.jp



推薦用紙の DL は
こちらから

5. 受賞者の発表・贈呈式

厳正なる選考の上、受賞者には事務局よりご連絡いたします。

受賞者は、2026 年 2 月開催予定の第 64 回関西財界セミナーの中で発表、表彰します。

お問い合わせ先：

（公社）関西経済連合会 総務部 坂田・太野垣 TEL：06－6441－0101

（一社）関西経済同友会 企画調査部 與口・木津 TEL：06－6441－1031

以上

「関西財界セミナー賞2026」応募・推薦用紙

募集期間 2025年8月19日(火)～9月26日(金)

推薦する企業・団体・個人名

推薦する事業・活動名

※ あてはまる種別に○印を記入ください： 【 】自薦 / 【 】他薦

■ 推薦ポイント ※可能な範囲でご記入ください。

独自性・革新性、活動成果・影響 (箇条書き、200文字以内)

(例： <独自性・革新性> 日本・世界初の取り組み・ビジネスモデル、従来と異なる手法に挑戦、
本業を生かし新たに○○の分野に進出、○○(技術・商品)は日本唯一 など
<活動成果・影響> ○年連続で収益増、約○% (国内○位) のシェア、○億円の経済効果があった、
施設において○人を集客 など)

※概ね直近3年間でのご活躍内容をご記入ください。

○ご記載にあたっての補足

- ・図・表・写真・イラスト等を貼付いた
ても構いません
- ・フォントサイズは12以上で記入ください

関西への貢献 (箇条書き、100文字以内)

(例：地域の課題解決への取り組み、地域の雇用創出に貢献、住民交流の場の提供、地域振興活動の実施 など)

女性の活躍 (箇条書き、100文字以内)

(例：○○年経営者として活躍、女性初となる○○、女性ならではの視点を生かした事業の実施および商品の開発、
働く女性を支援する○○制度を整備し、育児休業取得率、復職率○%を達成 など)

■ 推薦者コメント (直近1年のトピックス、応募への意気込みなど、ご自由に記入ください)

■企業概況（連結決算の場合は、連結ベースでご記入ください。）

本社所在地	※市区町村不要 記載例：大阪	創業年	年	※記載例： 1985年	
資本金	円	※記載例： 1億5000万円	従業員数	名	※記載例： 300名
最近の業績	お分かりになる範囲で結構ですので、最大 3 か年分ご記載願います。 選考時の参考にいたします。				
	記入例)				
	売上高	1600億円	1824億円	2466億円	
	経常利益	43億円	50億円	46億円	
	時期	2023年3月時点	2024年3月時点	2025年3月時点	
	売上高	円	円	円	
	経常利益	円	円	円	
	時期				
ホームページ アドレス					

■ご推薦者の連絡先

ご所属・役職名	
お名前	
電話	
E-mail	
住所	〒

■以下、他薦の場合はご記入ください

推薦企業・団体・個人の連絡先 ※ご存知の場合に記入いただければ幸いです

部署（役職）	
ご担当者	
電話	
E-mail	
住所	〒

推薦企業・団体・個人へご推薦者名をお知らせしてよろしいですか

【 】可 / 【 】不可（いずれかに○印を記入ください）

「関西財界セミナー賞2026」事務局へメールでお送りくださいますようお願いいたします。
メールアドレス zaisemishou2026@kankeiren.or.jp

関西財界セミナー賞 2025

関西財界セミナー賞は、関西において、強い競争力や優れたビジネスモデルを持ち、その独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人を表彰している。

大賞

グラングリーン大阪開発事業者



<受賞理由>

うめきた 2 期地区開発事業「グラングリーン大阪」が 2024 年 9 月に先行まちびらきした。関西の交通結節点である大阪・梅田駅に直結した広大な「うめきた公園」やイノベーション施設「JAM BASE」のオープンにより、都市の魅力向上とにぎわい創出に貢献している。

<受賞コメント> 大野 郁夫 三菱地所株式会社 執行役常務

グラングリーン大阪は官民一体のプロジェクトとして「緑とイノベーションの融合拠点」をコンセプトに開発を進めた。先行まちびらき以降、多くの方に来訪いただいている。今後も大阪府・市や関西経済界に協力いただきながら、うめきたから元気を発信し、関西の魅力向上に資するように頑張っていきたい。

特別賞

一般社団法人 COMING KOBE 実行委員会



<受賞理由>

阪神・淡路大震災の被災地である神戸でチャリティー音楽イベントを 2005 年以降毎年開催し、震災の記憶を後世へつなぐとともに、会場内で集めた募金を「神戸からの恩返し」として国内外の震災被災地への支援に活用している。

<受賞コメント>

藤井 治博 実行委員長

中学生のころに阪神・淡路大震災を経験したことをきっかけに、2005 年からチャリティー音楽イベントを継続して開催し、今年 20 年を迎えた。会場内で参加者から集めた募金を被災地に寄付しており、多くの方々の力を借りて開催できていると実感する。2025 年は 5 月に開催を予定している。ぜひご来場いただきたい。

京都学生祭典実行委員会



<受賞理由>

人口の約 1 割を学生が占める京都市で「京都学生祭典」を毎年企画・運営している。学生が主体的に地域社会の課題解決に取り組み、行政や経済界がバックアップする体制は、若い力を地域活性化につなげるモデルとして注目されている。

<受賞コメント>

篠原 萌花 第 22 回京都学生祭典 実行委員長

毎年 10 月に開催する京都学生祭典の運営や、ボランティアなどを通じた地域貢献に取り組んでおり、京都府・市や京都経済界、地元住民の皆さん等に支えられて活動している。今後も地域活性化に向けて、学生一同、努力を続けていくのでご支援たまわりたい。今年の京都学生祭典に皆さまぜひお越しください。

株式会社ホテルニューアワジ



<受賞理由>

関西を中心に旅館やホテルを経営。「街の灯りを消してはならない」を合言葉に、経営難や廃業に陥った宿泊施設の再生にも取り組む。地域の雇用の維持・創出、地産地消の取り組みで、観光業を通じた地域活性化をけん引している。

<受賞コメント>

木下 学 代表取締役社長

1953 年に淡路島で創業してから約 45 年間は 1 軒の民宿として運営していたが、ご縁があって全国のホテル・旅館の再生に携わるようになり、今では 20 軒の宿泊施設を経営している。観光業を通じて、地域全体そして従業員の生活が豊かになることをめざし、これからも努力していきたい。

輝く女性賞

株式会社ビジョンケア

代表取締役社長 高橋 政代 氏



<受賞理由>

神戸アイセセンターを設立し、視覚障害者の問題解決に向けた研究・臨床・患者ケアの一体化を推進。さらに、研究室や病院から生まれるシーズを事業化するため会社を設立し、医師・研究者・経営者として再生医療の発展に貢献している。

<受賞コメント>

ビジョンケアは iPS 細胞の世界初の臨床応用に成功したチームにより設立した会社である。再生医療の実用化には新たなビジネスモデルが必要であったため、同社を立ち上げ、代表取締役社長に就任した。神戸から日本全国、ひいては世界に道を広げていきたいと思っている。ぜひ応援していただきたい。

フジモトゆめグループ 社会福祉法人隆生福祉会

理事長 藤本 加代子 氏



<受賞理由>

グループの経営者として、業界に先駆けて介護ロボットを導入するほか、福祉先進国と連携した人材育成を実施するなど、福祉サービスの向上と働きやすい職場環境づくりに革新的なアプローチを行っている。

<受賞コメント>

19 年間専業主婦だったが、眼科医で会社を営んでいた夫を亡くし、突然経営者になった。当初は経営のことは何もわからなかったが、会社も家庭もマネジメントは同じだと考え、「母性の経営」を掲げ、社員のお母さんになろうと決心した。そのおかげで輝く女性賞を受賞できた。今後もますます輝いていきたい。

株式会社ソーイング竹内



<受賞理由>

地場産業の播州織を持続可能な産業とするため、二次元バーコードを用いたノウハウの共有化や最新機器導入による省力化等により女性が主体となって長く働ける就労環境を整備し、女性雇用の創出に貢献している。

<受賞コメント> 竹内 裕児 代表取締役

兵庫県多可郡にて縫製加工・卸売業を営んでおり、現在、従業員の 7 割以上が地元出身者を中心とする女性である。今回の受賞は、従業員一人ひとりの努力の賜物だと思っている。当社では仕事を通じた人間形成を重視しており、縫い合わせて離れないような人間関係の構築をめざし、今後も業務にまい進していきたい。

株式会社ママクリエイターラボ



<受賞理由>

子育て中の女性を対象とした在宅 WEB クリエイターの育成スクール事業により仕事のスキルの育成と就労支援を行っている。成長分野であるデジタル業界への女性の進出を促し、子育てと仕事の両立に新たな選択肢を提供している。

<受賞コメント> 榊原 杏奈 代表取締役

以前は百貨店に勤務していたが、私自身も出産・育児を経験するなかで、子育てとキャリアの両立が難しいと感じた。同様の悩みを抱える女性を応援したいと思い、事業を立ち上げた。現在、全国に約 360 名のママクリエイターが誕生している。企業理念である「じまんのママ」1 万人をめざし、今後も努力していきたい。